

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2019年5月-1) 第110号

活動日	時間	天候	記録者
2019年5月9日(木)	9:30~12:00	(曇り)	(菅田)
2019年5月18日(土)	9:30~12:00 (イベント前日準備作業)	(曇り)	
2019年5月22日(水)	9:30~12:00 午後から総会~14:00	(晴)	

参加者氏名 (15+9+15名)	(5月9日) 菅田忠志、塩ノ谷年子、橋野美子、片岡隆夫、小林澄夫、清水英輔、佐藤泰仙、田路義弘、俵貴志子、米倉進、中西優、松本治美、山田喜義、若尾孝子、伊牟田雅子、
	(5月18日) 菅田忠志、塩ノ谷年子、橋野美子、清水英輔、俵貴志子、田路義弘、松本治美、山田喜義、米倉進
	(5月22日) 菅田忠志、小林澄夫、塩ノ谷年子、清水英輔、佐藤泰仙、俵貴志子、田路義弘、中西優、橋野美子、松本治美、山田喜義、米倉進、水島康夫、井口久美子、南木久枝

今月実施した作業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「親子カブトムシ観察会(春)」イベント準備作業 2. 村内馬事公苑からもらってきた馬糞堆肥をチップに混ぜ込む作業 3. 今年度総会実施
------------	--

5月9日・18日・・・19日イベントの準備作業



5月19日に開催する今年度の親子自然塾“カブトムシ幼虫・成虫生育観察会”を前に、受け入れ準備が忙しい。今回は、幼虫観察後の木工クラフト工作に「バードコール」に挑戦してもらうため、その小枝の選定を行った
 これまでの実績から、樹種は芯の固いものがよいようなので、ヤブツバキやコバノミツバツツジの枯枝を準備した。



バードコール: 小枝に穴をあけ、アイボルトを埋め込み、左右に回したときの摩擦音が野鳥の鳴き声に似る



昨年、別の場所で自然に孵化し生育しているカブトムシの幼虫を、今回のイベントでは子どもたちにこの観察小屋まで引越させるため、受け入れ場所となる観察小屋内の腐葉土入れ替えを実施。



生育観察小屋内の木枠のセット完了。

ここに明日 19 日子どもたちにカブトムシ3齢幼虫の引越し作業をしてもらおう。ここが 6 月～7 月にさなぎに変態し、7 月～8 月に羽化する場所となる。

今回、他の作業として、購入・カットして保管していた林内散策道階段用木材の防腐塗料の塗布を女性陣に済ませてもらった。取り換えが必要な腐食が激しい階段と交換する。



5 月 22 日イベント翌日の作業…イベント当日の記録は、活動報告 111 号を参照してください



2 日前、子どもたちに幼虫を運んでもらった引越し先の観察小屋内にある木枠は、やや腐葉土不足のため、下から新しい腐葉土の運び込みを我々で行った。疲れましたね



観察小屋内の生育木枠

みなさんのお骨折りもあって、里山内の観察小屋では、これからのサナギ～成虫へと育っていく過程で、最も緊張するデリケートな時間を安心して過ごしてもらえらるvoudらう



観察小屋



今年も馬事公苑から馬糞堆肥をもらってきた。15 袋だったかな？

チップに混ぜてしっかり活用。今年の成虫の快適な産卵場所となるように



こどもたちに幼虫を引越してもらった昨年からの自然産卵・幼虫生育場所。まだかなりの幼虫が残っているため、羽化を控えての天井金網枠の取り付け作業を実施。ここで羽化する成虫は、こうべ環境未来館など他のイベント時の教材として子どもたちのお相手をしてもらおう



ここも2日前、こどもたちに手伝ってもらい一緒に使った“今年羽化してくる成虫の産卵場所”。やはり腐葉土不足の様なので、しっかり産卵してもらうためにも“気持ちのよさそうなお屋敷”にし仕上げておかないとね



花実の森ではササユリが咲き始めました。つぼみを除き今 75 輪ほどカウントできました。盗掘がなければ毎年 150~200 輪位は咲くでしょう。

中西さんが花実の森入り口の看板と、側溝の蓋の補修をしてくれました。